

地震被害と評点の関係

出典：木造住宅の耐震リフォーム A2 サイズ版

地震の時に受けるであろう被害の大きさは、地震の大きさと評点の関係から決まります。この関係を示したのが下記の耐震改修チャートです。

【耐震改修チャート】

震度	5弱	5強	6弱	6強	7
被害					
無被害	1.0 1.3	1.3			
小破	0.4 0.7	1.0	1.3		
中破		0.7	1.0	1.3	
大破		0.4	0.7	0.7 1.0	1.3
倒壊			0.4	0.4	1.0 0.4 0.7

出典：井戸田秀樹、瀧岡廣樹、梅村昌、森保宏：在来軸組木造住宅における一般耐震診断の評点と損傷度の関係
耐震改修促進のための意思決定支援ツールに関する研究（その1）、日本建築学会構造系論文集 第612号、pp.125132、2007年2月

表の中の数字はその住宅の評点で、評点が高くなるほど同じ地震に対する被害の程度が軽くなっていきます。0.3 きざみの荒い感覚でしか示していませんが、評点が意味する住宅の強さがある程度ご理解いただけたと思います。

	被害の様子	修復の可能性と被害状況
無被害		ほぼ無被害 ● 仕上げのモルタル、漆喰などに軽微なひび割れが発生する場合がある ● 壁紙にしわが寄ることがある 変形 1cm以下
小破		継続使用可・軽微な補修要 ● 部分的なタイルの剥離 ● 窓周辺のモルタルなどにひび割れ ● 壁紙の部分的破損 ● 瓦のずれ、部分的落下 変形 1～5cm
中破		多くの場合避難生活 かなりの修復費用が発生 ● 外壁の剥離、脱落 ● 窓、扉の開閉不具合 ● 内装仕上げの剥離 変形 5～10cm
大破		避難生活・修復困難 ● 内外装の激しい剥離 ● 大きな柱の傾き ● 窓、扉の損壊 ● 余震による倒壊の可能性 変形 10cm以上
倒壊		命を落とす危険性大 ● 室内空間がなくなる ● 近隣への影響大 ● 火災発生の可能性大 MOVIE 23

※ 変形 揺れているときに家全体が横方向に変形した大きさを意味します。

所定の耐震改修工事を行うと補助以外に税制上の優遇も！

① 所得税の控除

控除限度額最大 1,000 万円
控除率 5～10%・控除期間1年

② 固定資産税の減額

改修家屋(120㎡相当分まで)
固定資産税を 1/2 減額

詳細は
国の HP を
チェック!!



耐震性のない木造住宅（空き家）を解体する場合にも補助を受けられます。

「容易な耐震診断にて、一見して倒壊の危険性があると判断できる一戸建て住宅」又は「耐震診断にて評点が0.7未満」が補助対象となります。

支援内容 標準補助金額
工事費の 23%（最大 40 万円）

お問い合わせ窓口

補助制度のお問い合わせ等
はこちらまで



団体名	所在地	電話番号
四日市市建築指導課 建築安全・空き家対策係	〒510-8601 四日市市諏訪町 1-5（本庁 4 階）	059-354-8207

住宅耐震改修補助制度大幅拡大

令和 8 年度
まで

■ 期間 (令和 6 年度～令和 8 年度)
3 年間限定

■ 補助制度の金額

・精密な診断による補強設計
最大 18 万円 **34 万円** 補助！

・補強工事
最大 100 万円 **150 万円** 補助！

・段階・部分的に補強する場合も
最大 **80 万円** 補助！
令和 6 年度より新設！

・リフォーム工事
最大 20 万円 **40 万円** 補助！
※補強工事と同時に行うものに限りです。

令和 6 年元日に発生した能登半島地震では多くの木造住宅が被害を受けました。倒壊等により死者が出ただけでなく災害後の救命活動等にも大きな影響を与えました。

今回の被害を受け、市では木造住宅の耐震改修を促進するため補助制度を大幅拡大します。

補助額のイメージ

工事費が150万円の場合

今まで	補助金 100万円	自己負担 50万円
-----	--------------	--------------

令和 6～8年度	補助金 150万円	自己負担が0円に！
-------------	--------------	-----------

リフォーム 工事	補助金 150万円	リフォーム 40万円
-------------	--------------	---------------

+リフォーム工事補助
で最大190万円補助！

ご注意ください！

下記の場合は補助対象外となりますので
ご注意ください。

- ・着手済みの工事
- ・補助金の交付決定通知前に契約した工事

【ご注意】予算には限りがありますので、詳しくは担当窓口にお問い合わせください

四日市市役所 建築指導課 建築安全・空き家対策係

1

たいしょうじゅうたく むりょう たいしんしんだん う
対象住宅であれば、無料で耐震診断を受けられます！

(昭和 56 年 5 月 31 日以前に工事着手された木造住宅が対象です)

耐震診断



無料耐震診断後、診断結果の評点や
補強費用の概算費用をお伝えします

オンライン申請は
こちら



診断結果の評点	0.7 未満	0.7 以上 1.0 未満	1.0 以上 1.5 未満	1.5 以上
診断結果	耐震性なし 	耐震性あり 		
区分	倒壊する可能性 が高い	倒壊する可能性 がある	一応 倒壊しない	倒壊しない

たいしんしんだん けっか ひょうてん みまん じゅうたく ひょうてん いじょう じゅうたく
耐震診断の結果、「評点1.0未満」の住宅を、「評点1.0以上」の住宅にするための
耐震改修設計を補助します。

「評点 0.7 未満」住宅を「評点 0.7 以上」又は「1 階部分を評点 1.0 以上」にする耐
震改修設計も補助対象となります。

2

補強設計



耐震改修設計

支援
内容

補助金額
最大 18 万円

診断結果の評点	0.7 未満	0.7 以上 1.0 未満	1.0 以上 1.5 未満	1.5 以上
区分	倒壊する可能性 高	倒壊する可能性 がある	一応 倒壊しない	倒壊しない

耐震改修設計※

※精密な耐震改修設計をする場合、
最大 34 万円補助します。

補強内容は設計者さんと相談して決めよう！
三重県木造住宅耐震促進協議会 059-246-7131



記載の補助金は全て、昭和 56 年 5 月 31 日以前に工事着手された木造住宅が対象です

3

補強工事

たいしんかいしゅうせつけい もと たいしんかいしゅうこうじ おこな
耐震改修設計に基づき、耐震改修工事を行います

補助金額：①最大 80 万円 ②最大 70 万円

段階改修工事

- ①：建物全体の評点を 0.7 未満から 0.7 以上
- ②：建物全体の評点を 0.7 から 1.0 以上

部分改修工事

- ①：1 階部分の評点を 1.0 以上
- ②：1 階部分改修後に 2 階部分の評点を 1.0 以上

1 階部分のみ補強
でも補助対象！

段階改修工事

①1 段階目

②2 段階目

診断結果の評点	0.7 未満	0.7 以上 1.0 未満	1.0 以上 1.5 未満	1.5 以上
区分	倒壊する可能性 が高い	倒壊する可能性 がある	一応 倒壊しない	倒壊しない

耐震改修工事

支援
内容

補助金額 最大 150 万円

耐震改修工事：建物全体の評点を 0.7 未満から 1.0 以上

工事費が 150 万円なら自己負担は無し！

※別途工事監理費等は必要です



4

リフォーム工事

たいしんかいしゅうこうじ どうじ おこな こうじ ほじょ う
耐震改修工事と同時にを行うリフォーム工事にも補助を受けられます

(*4) 住宅の機能や性能を向上させる目的で行う工事に限ります。

支援
内容

補助金額
工事費の 2/3
(最大 40 万円)

部分・段階耐震改修工事も

リフォーム工事補助対象になりました。

支援
内容

補助金額
工事費の 1/3
(最大 20 万円)

せっかく工事
するんだし、
補助を受けて
キッチンも
新しくするぞっ

(*4)



【ご注意】予算には限りがありますので、詳しくは担当窓口にお問い合わせください